



特集

新時代を切り拓く

エアバスA350型機  
ボーイング787型機

# 国内線 就航

日本の空は、新しい時代へ。

2019年9月、国内線にエアバスA350型機が、10月にはボーイング787型機が就航しました。

その特長は、これまで以上に過ごしやすい機内の「快適性」や、環境負荷を低減する「省燃費」、「低騒音」。

JALグループは、新型機の導入を通じて、新時代の快適な空の旅と、環境負荷の低減による持続可能な社会の実現を目指しています。



1



2



3



4

JALグループは、2030年のSDGs\*達成に向け、事業を通じて社会の課題解決に取り組みます。

\*「Sustainable Development Goals」の略称で、持続可能な社会の実現を目指し、国際社会が2030年までに解決すべき17の目標のこと

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 機体の入口付近にはJALを象徴する鶴丸ロゴをあしらいました 2 個室のようなプライベート空間を実現した「ファーストクラス」。ソファのような座りごちとマッサージ機能を備えた座席は今までにないつるぎを体験できます 3 「クラス」では、レッグレストに新機能が。ゆったりとした空の旅をご堪能いただけます 4 キャスター付きスーツケースを縦に収納することができる手荷物収納棚

## 「省燃費」と「低騒音」 環境に配慮した新型機

2019年9月から、エアバス A350型機、10月からボーイング 787型機が国内線に就航しました。機内仕様を一新し、すべてのお客様に快適な空の旅をご提供します。そして、さらに力を入れたのが環境負荷の低減です。

これらは、エアバス社、ボーイング社の新型機であり、従来機と比べ「省燃費」と「低騒音」という2つの特長があります。従来機と比較した場合、CO<sub>2</sub>排出量を15〜25%程度削減することができます。さらに運航時のエンジン音が静かになり、空港周辺の騒音の低減に加え、機内でも快適に過ごすことができるようになりました。

航空機の構造に新素材である炭素繊維複合材を使用することで軽量化を実現し、また、新開発エンジンの搭載によって環境に配慮した機材が実現しました。

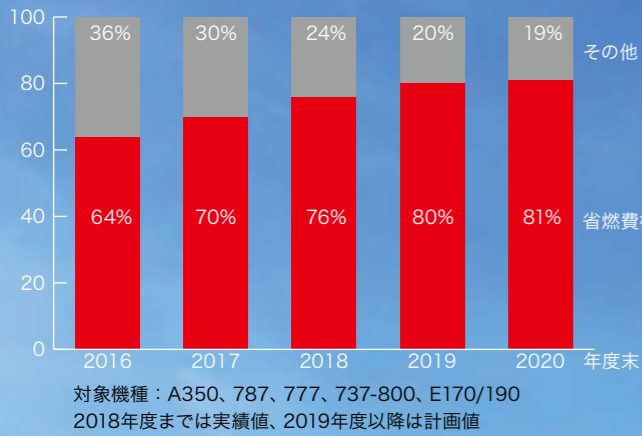
## 今、取り組むべき 環境課題の解決に向き合う

深刻化する環境問題の解決に向け、国際航空分野\*ではCO<sub>2</sub>排出量削減のため、さまざまな取り組みが進められています。JALグループでは「2020年度までにJALグループ航空機の有償トンキロあたりCO<sub>2</sub>排出量を2005年度比で23%削減する」という目標を掲げ、バイオジェット燃料の活用や、「燃料節約プロジェクト」、「騒音軽減運航方式」の導入など、各職場が連携しながら推進しています。今回の省燃費・低騒音機材への更新も、CO<sub>2</sub>削減に大きく貢献します。

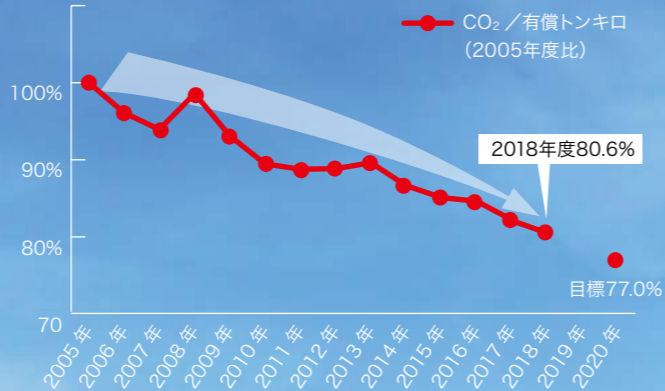
JALの主力機として、日本各地をつなぐ新型機。今後もすべてのお客様さまに快適なフライトを提供するとともに、事業活動のあらゆる場面で工夫を行い、環境負荷の低減に努めていきます。

※2010年に開催された国際民間航空機関 (ICAO) の総会では、「燃料効率を毎年2%改善すること」、「2020年以降国際線のCO<sub>2</sub>総排出量を増加させないこと」という2つの目標を採択。さらに、2016年の総会では、2021年以降、国際線を運航する航空会社に対して、2019年・2020年のCO<sub>2</sub>平均排出量を超過した分についてCO<sub>2</sub>排出権の購入などを義務付ける制度 (CORSIA制度) を導入することが採択されるなど、環境への負担を減らすための積極的なアクションが始まっています。

### JALグループの省燃費機材シェア



### JALグループ航空機の排出するCO<sub>2</sub>削減の推移



# 新型機で取り組む環境へのアクション

客室仕様のリニューアルにより機内の快適性を向上させた新型機。

さらに、「省燃費」と「低騒音」という性能も兼ね備えています。

未来に持続する社会を実現するため、JALグループは環境負荷の低減に力を入れていきます。



エアバス A350-900 型機

スペック (国内線仕様)  
全長：66.8m  
全幅：64.8m  
全高：17.1m  
エンジン推力：33.7t×2  
標準座席数：369  
巡航速度：916km/h  
最大離陸重量：217t  
航続距離：5,900km



ボーイング 787-8 型機

2012年から国際線に就航していましたが、10月27日より国内線にも就航しました。

スペック (国内線仕様)  
全長：56.7m  
全幅：60.1m  
全高：16.9m  
エンジン推力：28.9t×2  
標準座席数：291  
巡航速度：916km/h  
最大離陸重量：173.3t  
航続距離：5,100km

## 環境負荷の低い航空機を



経営企画本部長  
西尾 忠男

JALでは新しい機材を導入する際、路線ネットワークの構築や投資対効果のほか、更新時期などさまざまな観点で判断をしています。特に「環境負荷の低減」を重視しています。航空会社としてはCO<sub>2</sub>の排出量の削減は急務であると考えており、省燃費機材であるA350型機と787型機を、777型機、767型機の後継機として導入しました。今後も計画的に新型機へ更新していくことで、環境負荷の低減を目指してまいります。両機は省燃費なことはもちろん、低騒音かつ快適性にも優れており、今後も路線の特性に合わせて導入を進めてまいります。

また、私たちは中期経営計画のなかで「すべてのお客様さまにストレスフリーを実現」を掲げています。航空機にご搭乗いただくお客様のストレスフリーはもちろん、騒音の低減や排出する有害物質の削減などにより空港周辺の皆さま、そして社会の皆さまのストレスフリーも目指しています。

これからもJALグループは安全で快適な空の旅を追求するとともに、環境課題の解決に力を入れてまいります。